

過去5年の町田JFCの高校への進路実績

| No. | チーム名 | 入学年度 | | | | | 所在地 | 2010年度結果 | 全国大会出場実績 (過去5年 06-10年度) |
|-------|----------|------|----|----|----|------|------------|-----------------------------------|-------------------------|
| | | 11 | 10 | 09 | 08 | 07 | | | |
| 1 | FC東京 | | | | 1 | 東京都 | P関東1部/1位 | 高円(08/09/10)、CY(06-10) | |
| 2 | 流通経済大柏高校 | | | 2 | | 千葉県 | P関東1部/2位 | 選手権(07/09/10)、高円(07-10)、総体(06-10) | |
| 3 | 桐光学園高校 | 3 | 3 | 1 | 4 | 神奈川県 | P関東1部/8位 | 選手権(06/08)、高円(08/09)、総体(07/08/10) | |
| 4 | 市立船橋高校 | 2 | 2 | | | 千葉県 | P関東1部/9位 | 選手権(08)、高円(06-08/10)、総体(06-08/10) | |
| 5 | 湘南ベルマーレ | | | | 1 | 神奈川県 | P関東1部/11位 | 高円(06)、CY(07/09) | |
| 6 | 桐蔭学園高校 | 1 | 2 | 2 | 2 | 神奈川県 | P関東2部/3位 | 総体(06/09) | |
| 7 | 前橋育英高校 | | | 1 | | 群馬県 | P関東2部/4位 | 選手権(06-10)、高円(08/09)、総体(08/09) | |
| 8 | 佐野日大高校 | 1 | 1 | | | 栃木県 | P関東2部/8位 | 選手権(10) | |
| 9 | 駒沢大高校 | | | 1 | | 東京都 | 東京都1部/1位 | 選手権(10) | |
| 10 | 麻布大淵野辺高校 | 2 | 3 | 3 | 3 | 神奈川県 | 神奈川県1部/1位 | 総体(08) | |
| 11 | 山梨学院高校 | | | 1 | 3 | 山梨県 | 山梨県1部/1位 | 選手権(09/10)、総体(08/10) | |
| 12 | 青森山田高校 | 1 | | | | 青森県 | P東北1部/1位 | 選手権(06-10)、高円(06-10)、総体(06-10) | |
| 13 | 藤枝明誠高校 | | 1 | | | 静岡県 | P東海1部/8位 | 選手権(09)、高円(09) | |
| 14 | 鵬翔高校 | | | 1 | | 宮崎県 | P九州1部/10位 | 選手権(06)、総体(08/10) | |
| 15 | 帝京高校 | | | 1 | | 東京都 | 東京都1部/2位 | 選手権(07-09)、総体(06/07/09/10) | |
| 16 | 国士館高校 | 2 | 1 | 1 | 1 | 東京都 | 東京都1部/5位 | 総体(08) | |
| 17 | 関東第一高校 | | | 1 | | 東京都 | 東京都1部/9位 | 総体(07) | |
| 18 | 実践学園高校 | 1 | | | 2 | 東京都 | 東京都1部/10位 | | |
| 19 | 日本大学第三高校 | | 1 | | | 東京都 | 東京都3部B/2位 | | |
| 20 | 日大藤沢高校 | | | 2 | 1 | 神奈川県 | 神奈川県1部/4位 | 選手権(07)、総体(07) | |
| 21 | 三浦学苑高校 | | 1 | | | 神奈川県 | 神奈川県1部/8位 | | |
| 22 | 武相高校 | | | | 1 | 神奈川県 | 神奈川県2部A/4位 | 選手権(09)、総体(06) | |
| 23 | 法政大学第二高校 | 1 | | 1 | | 神奈川県 | 神奈川県3部C/1位 | | |
| 24 | 帝京第三高校 | | | | 1 | 山梨県 | 山梨県1部/2位 | 選手権(06)、総体(07) | |
| 25 | 日大明誠高校 | 1 | | 1 | | 山梨県 | 山梨県1部/5位 | | |
| 26 | 桐生第一高校 | 1 | 1 | | 1 | 群馬県 | 群馬県1部/2位 | 総体(07) | |
| 27 | 浜松開誠館高校 | 1 | | | | 静岡県 | 静岡県1部/4位 | | |
| 28 | 工学院大付高校 | | | | 1 | 東京都 | | | |
| 29 | 大成高校 | | 1 | | | 東京都 | | | |
| 30 | 日体荏原高校 | | | | 1 | 東京都 | | | |
| 31 | その他 都立高校 | | 1 | | 1 | 東京都 | | | |
| 卒業生人数 | | 15 | 19 | 19 | 17 | 16 | | | |

2011年1月現在



小学生の段階から自分の目標を立て、将来のステージを思い描くことは非常に大切なこと。

サッカーを教わる以外に、教えてもらうことがある

町田JFCは毎年、高円宮杯プレミアリーグやプリンスリーグ関東に出場するチームに、多くの選手を送りこむ強豪クラブだ。チームを率いる倉谷監督は、通常ならトップシークレットとも言える進路についての情報を、特別に本誌読者のために教えてくれた。このページをしっかりと読んで、より良い進路選びの参考にしてほしい。

[進路選択編：クラブチームの場合]

中学でのチーム選びで高校の進路が変わる!!

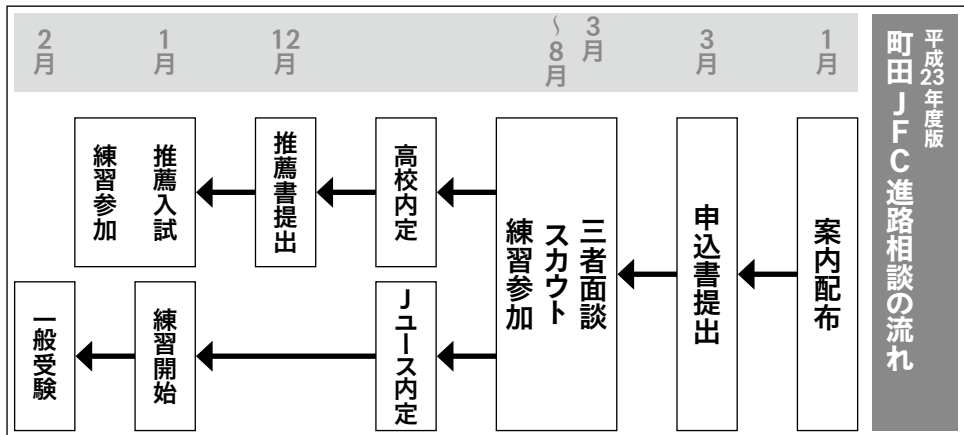


町田JFCとは?

東京都町田市を拠点に活動。「個を伸ばす」をテーマに、個人技に特化した練習は全国的に有名。自立した選手になるため、心理面の成長も重視しており、メンタルトレーニングコーチの大儀見浩介、谷野隆太が心理面のアドバイザーを務めている。多くのJリーガー、日本代表を輩出している名門で、主なOBに北澤豪、小林悠(川崎F)、大前元紀(清水)など。
公式HP <http://machidajfc.jp>

プレミアリーグ、プリンスリーグ関東に多くの選手を送りこんでいる町田JFCの監督に聞いた!

中学、高校とサッカーを続けていく上で、避けて通れないのが「進路」という問題だ。中学生のみんなだけでなく、お父さん、お母さんも中学卒業後の進路について悩み、考えることもあるだろう。そこで今回は『進路相談のエキスパート』とも言うべき、町田JFCジュニアユースの倉谷直行監督に、進路に対する考え方や「いい進路選びの方法」について話を聞いた。
取材・文/鈴木智之 協力/倉谷直行(町田JFC) 写真/高橋学



倉谷監督は「町田JFCに入部を希望する選手は、自分の将来についてしっかりと考えている選手が多い」という。「小学校6年生の子で、『〇〇高校に行きたいので、町田JFCに入りたいです』と言って、うちのクラブに来た子がいました。そこで詳しく話を聞いたら『将来はプロになりたい』と。うちからは毎年、何名かが〇〇高校に行っていますし、そこを経由してプロになった選手もいます。お母さんと一緒に調べて来てくれたんでしょ」

小学6年生の時点で将来の目標を描き、そのためにリサーチをしてクラブの門をたたくというのもすごい話である。とはいえ近年では、それも珍しい話ではないという。倉谷監督は「中学校のクラブ選びの段階で、高校の進路に大きな影響がある」という。

「たとえば、高田宮杯プレミアリーグに参加する、A高校に行きたい子がいたとします。その場合、A高校の選手が中学時代、このクラブチームに所属していたかを調べてみる」といいます。

プレミアリーグやプリンスリーグのパンフレットは、試合会場で手に入る。購入してA高校のページを見れば、どのJユースからA高校に選手が進んでいるかはすぐにわかる。

つまり、そこに載っているJユースのクラブは、A高校とのつながりがあるということ。言い換えれば、A高校に選手を送りこんだことのないJユースのクラブから、サッカー推薦でA高校に進学するのは難しいと言える。もちろん、可能性はゼロではないが、その意味でも中学時代のクラブ選びは重要だ。「もし、保護者の方が子どもの進路を真剣に考えるのであれば、中学で入るクラブの指導者に、『そのチームの選手はクラブを卒業して、どの高校に行ったか』という全員のデータを見せてもらったほうがいいと思います。ちゃんと進路指導をしているチームであれば、過去の卒業生の進路は資料としてまとめているはず。そこで、理由をつけて見せてくれないチームは、考えたほうがいいですね」

町田JFCが持つ 進路のための極秘データ

あるクラブから、有名なプロ選手が一人出たとする。それをもって「良いクラブだ」と判断するのは危険だ。なぜなら、毎年多くの選手がクラブを卒業していくからだ。自分の子どもがその中の『たった一人のプロ』になれるといいが、それ以外の選手になる可能性

は十分にある。彼らがどこの高校へ行ったのか。それは事前にリサーチするべきだろう。さらに、1学年の人数が40〜50人と多いクラブは、サッカーにおいても進路においても適正な指導を受けられないケースもある。競争が激しいといえればそれまでだが、選手は試合をすることに成長していくもの。「実力がないから」と言って、試合に出る機会が限られていると、伸びるものも伸びなくなる。1学年当たり、何人いるかは事前に知っておきたい重要な数字だ。

ちなみに、町田JFCに入部できるのは1学年で25人程度。その理由を、倉谷監督はこう説明する。

「個人のレベルを高めるために適した、最大の人数が25人程度だと考えています。それに、マイクロバスに乗って遠征に行くこともあるのですが、選手全員に出場機会を与えてあげたいので、あまりたくさん人数を連れていくことはできないんです」

参考までに、町田JFCは、3年間で800試合を戦う。2試合に1試合出場すると計算して、3年間で一人あたり400試合はプレーできることになる。遠征やフェスティバルに行っても、ベンチに座ったままで試合に出られないことなく帰宅するということ

2011プレミアリーグ&プリンスリーグ 主要出場高校における 登録選手の出身中学・クラブチーム

| 青森山田高校 | 市立船橋高校 | 前橋育英高校 | 山梨学院大学附属高校 |
|----------------|-------------|--------------|---------------|
| 青森山田中学校 | VIVAIO船橋 | 前橋FC | Uスポーククラブ |
| コンサドレ札幌U-15 | 横浜ジュニオールSC | クマガヤSSC | FC.GIUSTI世田谷 |
| 坂戸ディアブロマツ | FRIENDLY | FC東京U-15深川 | 名古屋グランパス三好FC |
| フロンティア トルナーレFC | P.F.J | 東京ヴェルディJY | 川上FC |
| 鹿島アントラーズJユース | 柏イーグルスTOR82 | ザスパ草津U15 | ヴァンフォーレ甲府JY |
| ティアマンテ大阪U-15 | WINGS U-15 | FC東京U-15深川 | 東京ヴェルディJY |
| 五戸中学校 | 五井中学校 | 大泉FC | FC東京U-15深川 |
| ゼツセル熊取FC | FC東京U-15深川 | 高崎FC | FC ASA FUTURO |
| 札幌ジュニアFCユース | 六美中学校 | 藤岡キッカーズ | 町田JFC |
| 蘭東中学校 | IRIS生野 | 浦和レッズJY | フォルトゥナSC |
| A.C AZZURRI | FC四日市 | 石巻市立住吉中 | FCインテリオール |
| 田名部中学校 | A.C.アズミ | CANジュビロ沼津 | FC駒澤 |
| 水戸ホーリーホックJY | ジェフ千葉U-15 | フォルトゥナSC | 垂崎スポーククラブ |
| JFAアカデミー福島 | 今市中学校 | レイソルU.S.S.青梅 | FC厚木DREAMS |
| SS CANTERA | シーガルFC | 長生マリノスFCJY | FC東京U-15むさし |
| | 鹿島アントラーズJY | AC長野パルセイロJY | FC杉野 |
| | ミナトSC | 上州FC | 郁文館中学 |
| | 八代中学校 | 足利ユナイテッド | あきる野FC |
| | 周西中学校 | | FCシンカーズ |
| | 名古屋FC | | FC多摩 |
| | 草野中学校 | | AZ86東京青梅 |
| | 高浜中学校 | | |
| | さつきが丘中学校 | | |
| | 常盤松中学校 | | |
| | FERICE FC | | |
| | JEFA FC | | |
| | FC千葉なのはな | | |

はほとんどない。「それに」と倉谷監督は続ける。

「うちに来る選手たちは、みんなサッカーの強い高校に入りたいという希望を持っています。選手たちの上達を見極め、毎週末試合でプレーする環境を作り、進路の相談に乗るとなると、1学年25人前後が限界です。進路は選手のサッカーのレベルだけでなく、学力や家庭の経済環境など、さまざまなことからみ合っています。子どもたちの将来を左右する大きな問題でもあるので、私としても中途半端な対応は絶対にできません。そのことから、25人程度を目安としています」



サッカーをするためにはどんな環境が自分にとっていちばん最適かを考えてみよう。

サッカーと勉強の両立・その①

通常の進学もサッカー推薦も成績はオール3が最低平均。

サッカーが上手ければ、行きたい高校に行けるかということ、決してそんなことはない。勉強も大切なだ。「スポーツ推薦の場合、3年生の1学期の成績で判断します。そこで『9教科で合計27以上。1がないこと』という基準を設けている高校が大半です。他にも、欠席、早退、遅刻の日数も推薦の基準にされる場合があります。9教科で27ということは、平均は3。つまりオール3以上をキープしていないと、推薦入学は難しい(例外もあるが…)。サッカーばかりで勉強をしていないサッカー小僧は、もう一度よく考えたほうがいいかも。

などが、条件によって細かく分けられている。資料を見せてもらったが、誰もが知っている全国的な強豪高の名前が並び、それぞれに「スポーツ推薦あり」「体育科あり」「自宅通学可能」「寮生活」など、条件別にまとめられている。データの精密さは圧巻だ。「このように情報を整理すると、保護者の方も理解しやすいと思うんです。家から通える高校に行きたいのか、寮生活でもいいのか。とにかくJクラブのユースに行きたい子もいれば、家庭の経済事情から、特待制度がある高校を志望する子もいます。近頃は不景気の影響もあり、入部したときと状況が変わる場合もあります。そこで『奨学金を貰える方法を考えよう』や『特待生として行ける高校を探そう』とやっている、1学年に40人も50人もいる場合、全員に合った指導をすることは難しくなりやすいですね」

中学3年生ともなればパーソナリティを見られている

町田JFCは中一の3学期(1月)から、

進路相談を開始している。前述の資料を配り、親子で相談して「進路相談申込書」(P73参照)に記入し、監督に提出する。「進路の紙は、必ず親子で相談して、親に書いてもらうようにしています。子供に書かせると、親と相談しないで勝手に書いてくることもあるんです。中3になると、親子での会話が少ない家庭も多いのですが、うちのクラブの子たちは進路のことがあるので、中一のとさからよく話をしていると思います」

「進路相談申込書」には、「実踏」と「観戦」の2つの欄がある。実踏は学校の練習を自分の足で見に行ったことがあるか。観戦は、その学校の試合を見たことがあるか、である。さらには、どのような高校(Jクラブのユースを含む)に入りたいのか、優先順位をつけるようになっている。これらの項目は「全国大会出場の可能性がある高校(自宅通学可能・関東近辺・寮生活)や「付属高校」「県大会の常連校」などのカテゴリーに分かれている。「この用紙を書いてもらうと、その家庭の進路に対する考え方がわかります。これを見て、サッカーと勉強のレベルとを照らし合わせてアドバイスをします。詳しく書く子もいれば、単純に全国大会に出ているからという理由で書いている家もあります。それを私が見て、

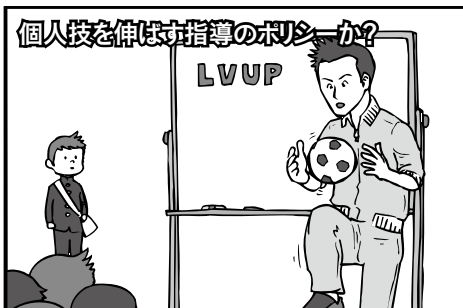
今すぐチェック!! クラブ選びの参考にしたいポイント



過去の卒業生全員の進路結果
卒業生がどこの高校へ行ったのかを知ることができれば、そのクラブの進路に対する考え方がわかる。「この高校に行きたい!」という特定の学校がある場合は、そこに多くの選手を送りこんでいるクラブを探してみよう。



同学年の入部が最初は何人いたか?
選手がすぐに辞めてしまうクラブより、3年間辞めずに長続きするクラブの方が、いい指導をしている可能性が高い。もし、中学進学時に希望するクラブが複数あり悩んでいる場合は、参考にしたい数字だ。



個人技を伸ばす指導のポリシーか?
サッカー推薦で高校に行く場合、プレーの質が高いことが必須条件になる。そこから逆算して考えると、「チームとして勝つこと」を優先しているクラブより、『個を伸ばす指導』に重点を置いているクラブの方がベターだ。



自分の子供がうまくなっているかどうかを確認できること
保護者は、チームとしての結果よりも、「自分の子どもがうまくなっているか?」に、注目してみたいかがだろう。上達のためには、試合数の確保が大切になる。実際には、チームとして何試合確保しているかをリサーチしよう。



チームに進路担当の人がいてその人は何年ぐらい進路に携わっているか?
チームに進路を担当する人はいるのかを、事前に確認できればグッド。できれば、何年にも渡って進路を担当している人が望ましい。頻繁にコーチが変わるクラブや、スカウト時のコーチがすぐにいなくなるクラブは要注意だ。



学習指導をちゃんとやっているか?
サッカーの指導だけでなく、勉強や生活面も大切にするクラブは、高校からの信頼も厚い。サッカー推薦で高校に行くためには、学力も必要だ。コーチが学校を訪問する等、在籍中学校との連携がとれていることも重視したい。

サッカーと勉強の両立・その②

勉強もサッカーと同じ。日頃から少しでも勉強する習慣を！

町 田JFCでは、成績がオール3以上で、1がないことが在籍の条件になる。「そのクラブの姿勢を子供たちも理解し始めて、勉強に取り組むようになってきました。別々の中学に通う子同士が、参考書を見ながら問題を出し合う姿を移動のバスの中で見かけます。宿泊遠征に行ったときは、ミーティングを省いて、1時間半の勉強時間を必ずとっています。高校に行けば、試験期間中に公式戦に参加する場合があります。そこで試されるのは、日頃の勉強に対する姿勢です。サッカーをしながらオール3をとることができるよう、勉強の習慣をつけることが大切だと思います」

ありますが、多くの高校は作文と面接です。一般入試と同じ場合、入試の日に風邪をひいたりして休むことができないので、インフルエンザの予防注射を打つなど、体のことにも気を配る必要があります。健康管理は普段からやっておくべきことだと思いますし、サッカーも勉強も体調管理も、日々の積み重ねが大切なんです」

サッカー推薦で高校に進むからといって、勉強ができなくても良いわけではない。勉強面も重視している。

返却して修正して出すという形で、多い子は3年間で10回以上提出します」

まるで進学塾のような、きめ細かな進路指導である。ただし、倉谷監督が「あの高校へ行きなさい」と指図することはないという。進路についての最終的な判断をくだすのは、中学生と、その保護者だ。

「うちの選手のほぼ全員がサッカー推薦で高校に行くので、中3の8月末には、ほとんどの選手の進路が決まります。学校によっては、一般入試と同じように試験を受けるところも

むしろその逆だ。高校サッカーを経て、多くの選手が大学サッカーに進むような高校は、勉強面も重視している。

「目安はオール3をとれることです。もちろん、『サッカーさえうまくいけばいい』という考えの高校もありますが、全国大会の常連で、関東大学リーグの一部に多くの選手を送りこんでいる高校は、勉強面も重視します。サッカーは上手だけど、学力が低く、私生活が乱れている選手を入学させると、学校生活に支障をきたす場合もありますからね。人の話を

申し込み書記入の際のポイント

- ①すべて保護者が記入する
進路は人生を左右する大切なこと。子供の意見だけで決めるのではなく、親子でしっかりと話し合い、結論を出すことが大切だ。経済的なことや家庭の事情もあるので、原則として保護者が記入する。
- ②実踏・観戦
『実踏』は志望する高校の練習会場に足を運んだことがあるか。『観戦』は実際に試合を見たことがあるか、である。練習の雰囲気や指導の内容、サッカースタイルを知ることが、進路選びの第一歩だ。
- ③希望順
希望する高校に優先順位をつけ、目標を明確にする。紙に書くことでイメージが湧きやすく、努力もしやすい。サッカーの実力や勉強面のレベルにより、希望順を見直す必要がある場合もある。
- ④希望理由
「サッカースタイルが自分に合うと思ったから」「自宅から通えて、全国大会出場も狙える」「大学進学への道が開かれている」など、その高校を志望する理由を記入し、進路相談に備える。
- ⑤優先順位
一言で「高校サッカー」「下部組織」と言っても、様々な学校(クラブ)がある。自分が志望する高校の種類に優先順位をつけることで、おのずとどのような高校が選択肢としてあるのかが、具体的になる。



平成23年度 町田JFC進路相談申込書
(すべて保護者が記入してください) 平成23年XX月XX日記入

① 選手名 白夜一郎
② 保護者名 白夜太郎

| 希望順 | 高校/ユース | 希望理由(必ず記入してください) | 実踏 | 観戦 |
|-----|---------|---|----|----|
| 例 | ●●高校 | | ○ | × |
| 1 | 私立A高校 | プリンスリーグの試合を観戦してみた。自分のやりたいサッカーをしている。自宅から近い。高校なので、練習や勉強、睡眠時間を確保できる。 | ○ | ○ |
| 2 | 県立B高校 | 今年1月に試合に参加させていただきました。その時に自分のプレーが生かせると思いました。また、自宅通学も可能なと思ったため。 | ○ | ○ |
| 3 | 市立C商業 | プレミアリーグに入っていて、その試合を観戦しましたがその時に自分のプレーを生かせると思ったから。 | × | ○ |
| 4 | 私立D付属高校 | プリンスリーグ1部に所属していて、かつ大学に進学する道も開かれているため。 | × | ○ |
| 5 | 私立E付属高校 | プリンスリーグ2部所属ながら、自分のプレーを生かせること、大学に進学する道も開かれていること、さらに自宅通学が可能なと思ったため。 | ○ | × |

⑤ 該当する項目に優先順位をつけて数字を記入してください。
 [] リーグユースチーム(東京都、神奈川県)
 [] リーグユースチーム(関東近辺、寮生活)
 [] 全国大会等出場の可能性のある高校(自宅通学)
 [] 全国大会等出場の可能性のある高校(関東近辺、寮生活)
 [] 東京都、神奈川県でベスト8の高校(常連校5回以上)
 [] 東京都、神奈川県でベスト8の高校(1~4回)
 [] 付属高校(関東大学リーグ所属)
 [] 付属高校(都県大学リーグ所属)
 [] 特待制度のある学校

を徹底しているので、高校の練習に参加すると、高校生の中に入ってもボールを離すことなく、ドリブルで抜きまくるわけです。そうすると、『これだけ堂々とボールを持てるのか』となり、『ウチに来てほしい』と声がかかります。高校の指導者は、個人技の高い選手に来てほしいと思っています。そう考えると、中学時代はいかにして個を伸ばしていくか。ボールを持って堂々とプレーできる選手でなければ話になりません。そこを追求しているのがうちのクラブです」

進路選びは、サッカーの実力に加えて、学業や生活面など、すべての面が問われることになる。そのためには、サッカーの指導だけでなく、それ以外の面にも意識を向けているクラブが望ましい。クラブは一度入部を決めたら、登録の関係などで移籍するのは難しい。親が子供のためにできることは、中学入学の段階で適切なクラブ選びをすること。

そして中学生のみならず、サッカーを頑張るのももちろんのこと、最低限の勉強と日常生活にも気を配ること。中学生は思春期であり、周囲の誘惑などの多い時期でもあるが、目標に向かってコツコツと努力できる人が、最終的に希望する進路に進むことができるのではないだろうか。



幸せなゴールを手に入れるために、きちんとリサーチし、目標設定を行ったらそれに向け努力していこう。